

取扱説明書

保管用



hanger

〒659-0082 兵庫県芦屋市山芦屋町 20-8
Tel ; 0797-25-1305 fax ; 0797-25-1306
URL <http://www.flame-product.com>

お客様へ

ご使用の前に本説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

	ページ
安全上のご注意	2
取付け前の注意事項	3
取付け箇所の確認	3
付属パーツ	4 ~ 5
ハンガーの組立て方法	6 ~ 8
壁面への取付け方法	9
使い方	10 ~ 12
お手入れ方法	12
保証について	12

■安全上のご注意



警告

- この器具は一般屋内用ブラケット照明器具です。
下記のような条件下では使用しないでください。火災、感電、落下の原因となります。
 - ・周囲温度が35℃以上の所
 - ・屋外や、浴室などの湿気の多い所、水滴のかかる所
 - ・振動や衝撃の激しい所、腐食性、可燃性ガスの発生する所
 - ・粉塵などの多い所
- 器具を改造したり部品交換をしたりしないで下さい。
怪我、破損の原因となります。
- 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。
工事店、電気店、お買上げ店にご相談ください。
- 電球は器具表示のものを使用してください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災のおそれがあります。
- 布や紙、布団など燃えやすいもので覆ったり、カーテンなど燃えやすいものの近くで使用しないでください。
火災・怪我の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、束ねたり、重たいものを置いたり、はさんだりしないでください。
コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。



注意

- 交流100ボルト以外で使用しないでください。
過電圧を加えると加熱し、火災、感電の原因となります。
- ストーブなど温度の高くなるものを器具の下に置かないでください。
火災の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後の電球には触らないでください。やけどの原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。
差し込みが不十分ですと、火災、感電の原因となります。
- 電源プラグを抜き差しするときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき火災、感電の原因となることがありますので、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。

■取付け前の注意事項

- 先端に吊る照明器具の総重量は **2kg まで** となります。

また、照明器具以外のものを取付けたり、強い力で引っ張るなど過剰な荷重を掛けしないで下さい。

- ハンガーが取付け可能か、事前に取り付けされる壁面の状態をご確認ください。

器具重量に耐えられる様に取付部の強度を確保して下さい。

(下記「■取付け箇所の確認」を参照)

- 照明器具側の電源コードは、本製品の取付けに必要な長さを確保してください。

(電源コードの長さに関しては、製品ご注文の際にオーダーフォームにご記入ください。)

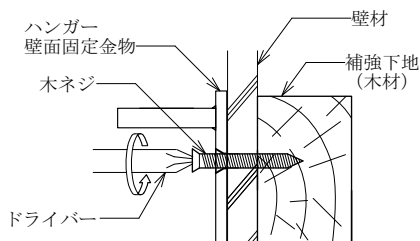
- 照明器具の取付けは自己責任にて行って下さい。

■取付け箇所の確認

今から取付けされる箇所にハンガーを取付けできるか、現場にて壁面の状態をご確認ください。

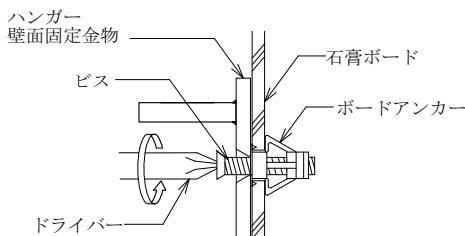
下地がある場合

※付属の木ネジをご使用ください。



下地がない場合 (石膏ボードの場合)

※付属のボードアンカーとビスをご使用ください。



※施工方法に関しては **9 ページ** をご参照ください。

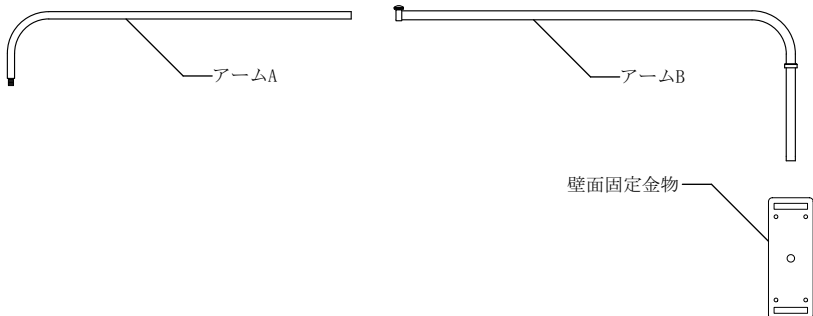
※上記以外の場合にて取付けされる場合、必ず取付け部の強度・固定に問題ないことを確認の上、取付けをおこなってください。

■ 付属パーツ

※取付けの前に、付属パーツをご確認ください。

※組み合わせるペンダント照明の仕様や、電源仕様によって付属パーツが異なります。

【共通パーツ】

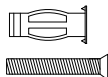


・木ネジ



×4本

・ボードアンカー&ビス



×4セット

・パイプ固定リング



×1個

・六角レンチ



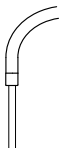
×1個

【仕様によって異なるパーツ】

直結仕様

コンセント仕様

コード吊り



・コードクリップ ・コード吊り用
ナット



×1個

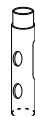


×1個

・コード吊り用
ナット ・コードストッパー
(別売) ・保護チューブ



×1個

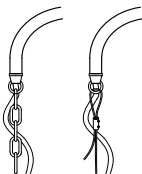


×1個



×1個

チェーン吊り or ワイヤー吊り



・コードクリップ ・アイナット
(ペンダント器具へ
取付け済み)



×1個



×1個

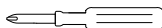
・アイナット
(ペンダント器具へ取付け済み)



×1個

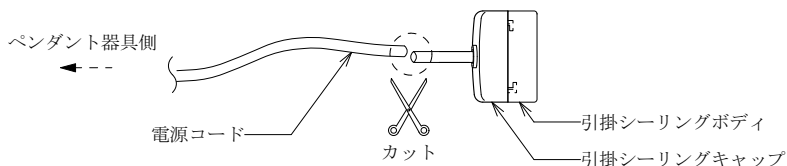
●お客様でご用意が必要な道具

- ・ プラスドライバー



直結仕様かつ、加工なしでのご注文の場合

開梱時、ペンダント器具の電源コード先端に引掛シーリングボディとキャップが付属された状態となっております。取付けの際は、ハンガーに必要な電源コードの長さが確保できる位置でカットしてご使用ください。



ハンガーブラスの注意点



真鍮素材のパーツは、表面に酸化防止のコーティングを施していないため、指紋や汚れがつきやすくなっております。

気になる方は手袋などをつけて作業してください。

■ハンガーの組立て方法

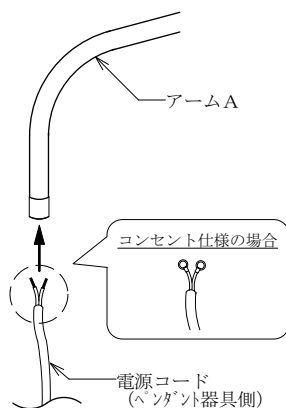
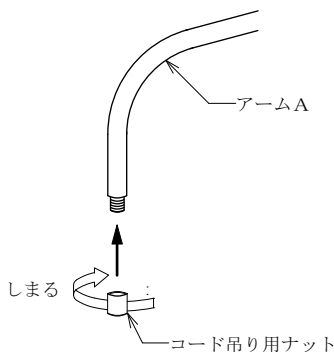
●ペンダント器具とハンガーを組み合わせる

※組み合わせるペンダント器具の仕様によって、取付け方法が異なります。
該当する仕様の組立て方法をご参照ください。

コード吊りペンダントと組み合わせる場合

アームAの先端にコード吊り用ナットを取付けてください。

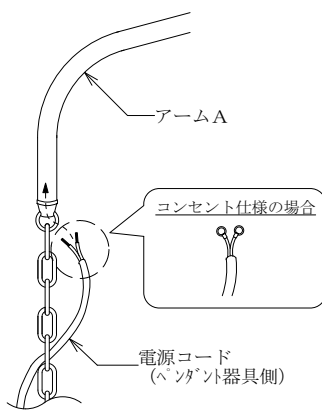
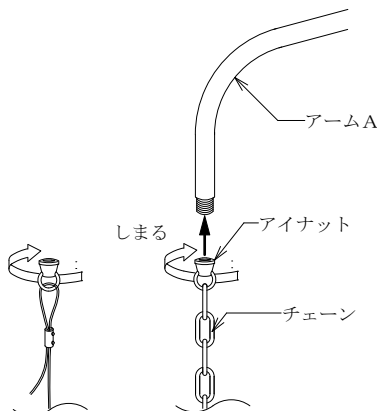
組み合わせるペンダント器具の電源コードをアームAの先端より通してください。



チェーン吊り/ワイヤー吊りペンダントと組み合わせる場合

アームAの先端にアイナットを取付けてください。

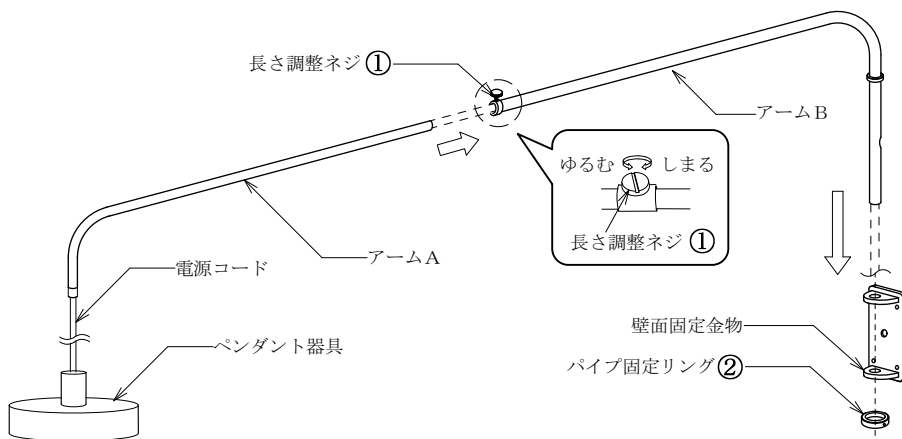
電源コードをアイナットを取り付けたアームAの先端より通してください。



※チェーンもしくはワイヤーに電源コードをはわせ、たゆみを持たせて取付けてください。

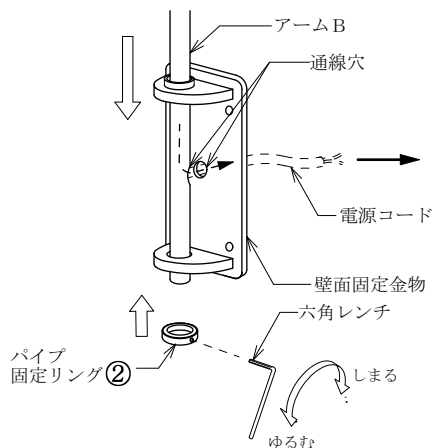
●ハンガー本体を組立てる

- ・アームAの先端から通した電源コードをアームBに通してください。
※電源コードを通しやすくするために、アームAとアームBを組立てる前にコードを通してください。
- ・その後、アームAをアームBに差し込み、長さ調整ネジ①を締めて固定してください。
- ・最後に、アームBを壁面固定金物に差し込み、付属のパイプ固定リング②のネジ部を六角レンチで締めて固定してください。



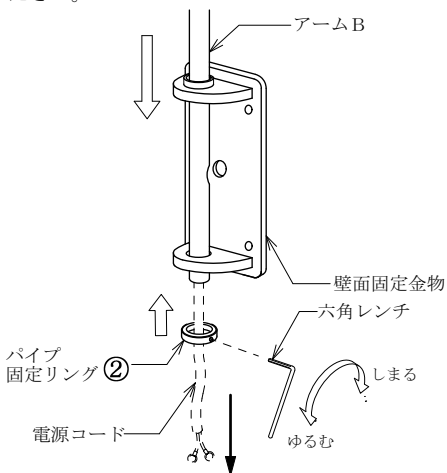
直結仕様の場合

電源コードをアームBと壁面固定金物の通線穴に通してください。



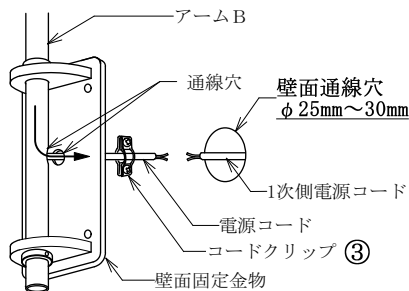
コンセント仕様の場合

電源コードを壁面固定金物の下へ通してください。



直結仕様の場合—※電気工事が必要となります—

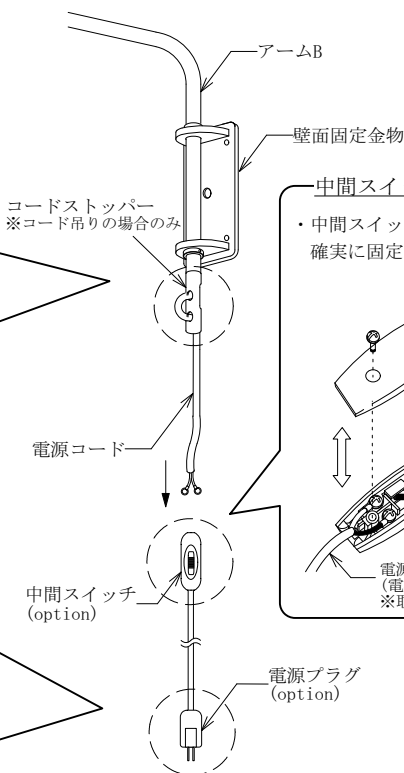
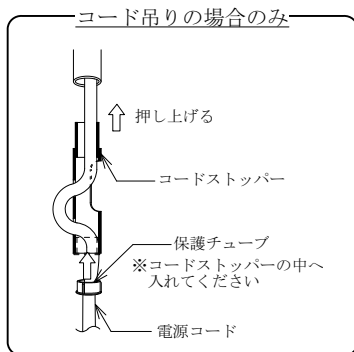
- ・コードクリップ③にて電源コードを固定してください。
※事前にペンダントの吊り高さ・アームの長さを決め、
所定の寸法になっていることを確認してください。
- ・壁面の取付け箇所、下穴を開けてください。
9 ページ「壁面への取付け方法」をご参照ください。
- ・最後に、1次側電源コードと結線してください。



直結仕様の場合、電源コードの長さが固定となるため、一度結線・取付けされるとアームの伸縮やペンダント器具の吊り高さを変更できない場合がございます。

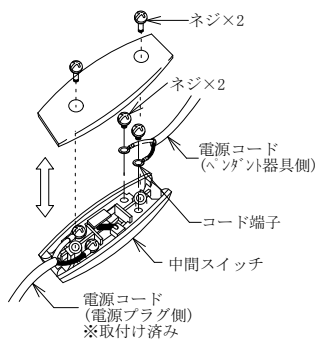
コンセント仕様の場合

- ・コード吊りペンダントとの組み合わせの場合、コードストッパーを取付けてください。
- ・電源コードの端子を中間スイッチ（もしくは電源プラグ）に取付けてください。
- ・壁面への取付けにつきましては、9 ページ「壁面への取付け方法」をご参照ください。



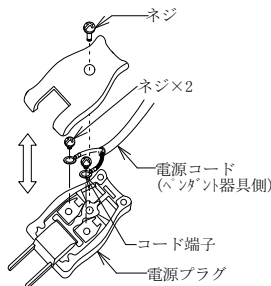
中間スイッチが付属する場合

- ・中間スイッチにコード端子をネジで確実に固定してください。

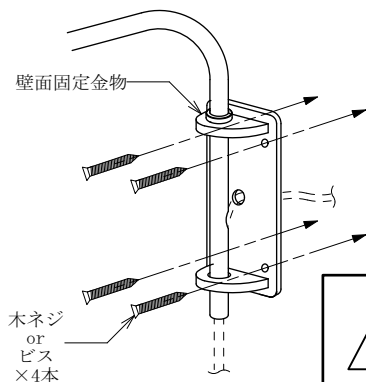


中間スイッチが付属しない場合

- ・電源プラグにコード端子をネジで確実に固定してください。



■壁面への取付け方法

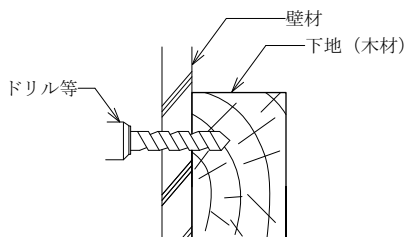


※取付け箇所の下地の有無によって、取付け方法が異なります。必ず、壁面の状態に合った取付け作業を行ってください。

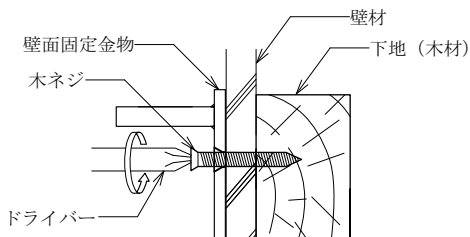


壁面固定金物は壁面にしっかりと取付けてください。
壁面固定金物の固定が不十分ですと、本体が転倒し、怪我や器具落下・破損の原因となります。

下地のある箇所に取付ける場合



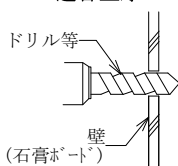
壁面固定金物のネジピッチに合わせて、壁面に木ネジ取付け用の下穴をあけてください。



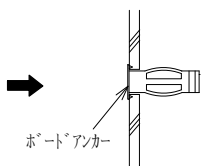
付属の木ネジにて、壁面の下地に直接揉み込んで壁面固定金物を固定してください。

下地のない箇所（石膏ボード）に取付ける場合

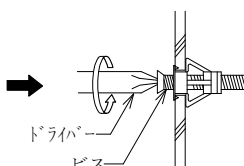
- * 下穴径 $\phi 8.0 \sim \phi 9.0$
- * 適合壁厚 7mm~14mm



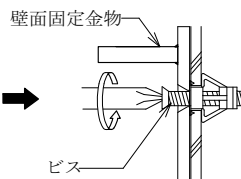
ドリル等で壁(石膏ボード)に壁面固定金物のネジピッチに合わせて下穴をあけてください。



壁(石膏ボード)と同じ面になるまでボードアンカーを差込んでください。



プラスチックライバーで締め上げて重さを感じたら、止め、ビスをはずしてください。



付属のビスにて、壁面のボードアンカーを取付けた箇所へ壁面固定金物を固定してください。

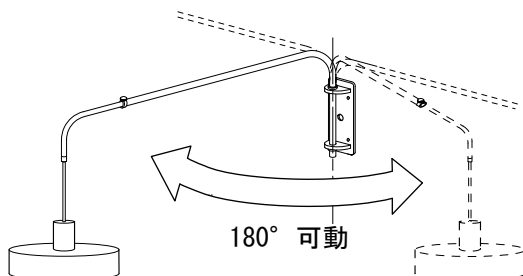
■使い方

●アームを左右にスイングさせる

アームをゆっくりと押してスイングさせてください。



ペンダント器具が周囲の物にぶつからないよう注意してください。



●アームを伸縮させる

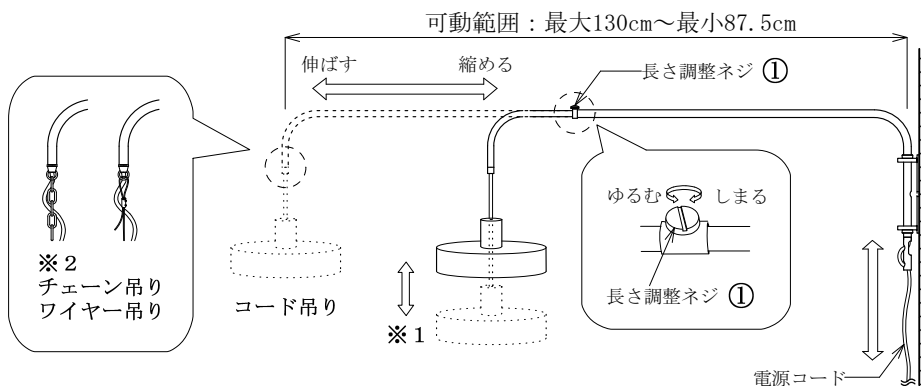
長さ調整ネジ①を使用して、アームを伸縮させ固定してください。



※1 コード吊りで直結仕様にて使用される場合、あらかじめ取付け時の長さでコードが固定されているため、コードの範囲内ではアームを伸縮させることができません。

※2 チェーン吊り・ワイヤー吊りで直結仕様にて使用される場合、コードの遊びがないため、可動範囲が制限される場合があります。

- ・アームを可動範囲最大付近まで伸ばしてご使用される場合、ペンダント器具の重量により、アームがたわむ可能性があります。
- ・可動範囲を超えての無理な可動はしないでください。器具破損の原因となります。

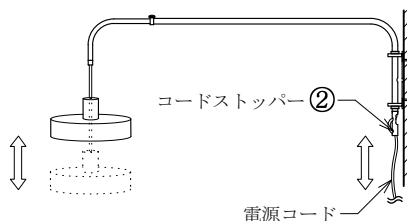


●ペンダント器具の高さを変更する

コード吊りペンダント器具との組み合わせの場合（コンセント仕様の場合）

コードストッパー②にて電源コードの長さを調整し、ペンダント器具の高さを変更してください。

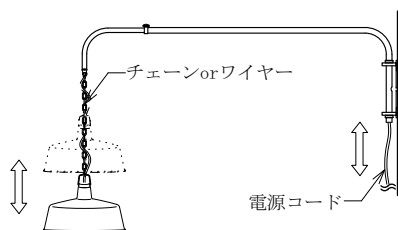
※直結仕様の場合には、コードの長さが固定されているため、アームの伸縮に合わせた高さの変更のみ可能となります。



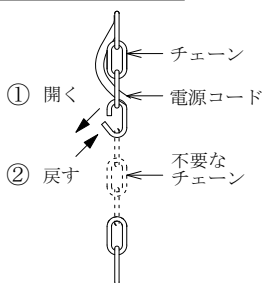
チェーン吊り/ワイヤー吊りペンダント器具との組み合わせの場合

以下の手順にて、チェーン/ワイヤーの長さを調節し、吊り高さを変更してください。

※直結仕様の場合には、チェーン、ワイヤーを短くすると、コードの弛みが大きくなります。

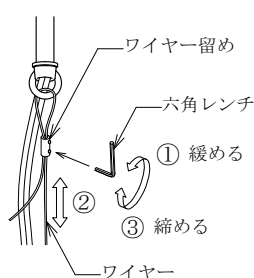


チェーン吊りの場合



- ① 不要なチェーンをペンチなどで取り外す
- ② チェーンの開きを戻す

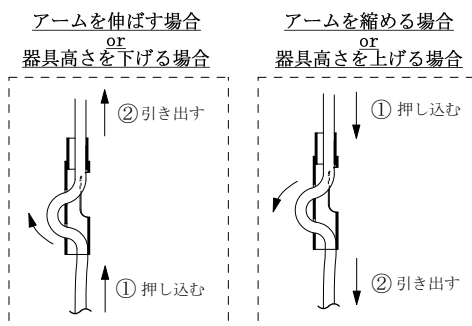
ワイヤー吊りの場合



- ① ワイヤー留めのネジを緩める
- ② ワイヤーの長さを調整する
- ③ ワイヤー留めのネジを締める

●コードストッパーでの調整方法（コード吊りかつ、コンセント仕様の場合のみ）

アームの伸縮やペンダントの高さ変更に合わせて、必要な電源コードの長さを調整してください。



■お手入れ方法

*電源を切って電球やその周辺が冷めてから行ってください。

- 安全にご使用いただくために、定期的（6ヶ月に1度程度）に点検、清掃をしてください。
- 汚れ（ホコリ、虫など）は、ハタキなどで落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
- 器具を水洗いしないでください。火災、感電の原因となります。
- ハンガーグラス（真鍮素材）にて、経年変化で生じたサビが気になる場合には、金属磨きクロスやサンドペーパー（300番程度）でやさしく磨いて仕上げてください。（軽減はされますが、完全に落とすことはできません。）

■保証について

- 照明器具の保証期間は、**お届け日から1年間**です。
その期間中に生じた製造上の欠陥・不具合は、無償で修理いたします。
- 保証期間内であっても、弊社以外で行なったペンダント灯具のコード加工や改造などに起因する不具合等の場合には、保証対象外（有償修理）とさせていただきます。